

入 札 説 明 書

この入札説明書は、政府調達に関する協定（平成 7 年条約第 23 号。以下「協定」という。）、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号。以下「政令」という。）、鳥取県物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規則（平成 7 年鳥取県規則第 106 号。以下「調達手続特例規則」という。）、鳥取県会計規則（昭和 39 年鳥取県規則第 11 号。以下「会計規則」という。）及び本件調達公告に定めるもののほか、本件調達に係る一般競争入札及び契約に関し、入札者が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 調達内容

（１）借入物品の名称及び数量

鳥取県立鳥取湖陵高等学校ＣＡＤ実習室Ⅱパソコン等賃貸借 一式

（２）借入物品の仕様

別添鳥取県立鳥取湖陵高等学校ＣＡＤ実習室Ⅱパソコン等賃貸借仕様書（以下「仕様書」という。）のとおりに

（３）履行期間

ア 借入期間

令和 5 年 7 月 1 日から令和 10 年 6 月 30 日まで

イ 納入期限

令和 5 年 6 月 30 日（金）

なお、納入期限までに設置作業、初期設定等を完了し、使用可能な状態とすること。

ウ 契約期間

契約締結日から令和 10 年 7 月 31 日まで

（４）納入場所

仕様書のとおりに

（５）賃借料の支払方法等

賃借料の支払方法については、各月の金額を翌月支払うこととし、その金額は、契約金額を 60 で月割にした金額とする。月割した金額に 1 円未満の端数があるときは、初月分で調整する。

2 公告の日

令和 5 年 1 月 27 日付 鳥取県公報第 9467 号

3 入札参加資格

本件入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

（１）政令第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。

（２）令和 3 年鳥取県告示第 457 号（物品等の売買、修理等及び役務の提供に係る調達契約の競争入札参加者の資格審査の申請手続等）に基づく競争入札参加資格（以下「競争入札参加資格」という。）を有するとともに、その業種区分が事務用機器のパソコン類に登録されているものであること。

なお、本件入札に参加を希望する者であって、競争入札参加資格を有していない者又は当該業種区分に登録されていない者は、鳥取県競争入札参加資格審査事務取扱要綱（昭和 40 年 1 月 30 日付発出第 36 号）第 5 条第 1 項に規定する競争入札参加資格者名簿（以下「競争入札参加資格者名簿」という。）への登録に関する申請書類を令和 5 年 2 月 2 日（木）正午までに 7 の（２）の場所に提出すること。この際、本件入札に参加するための登録申請であることを、当該書類の提出と同時に 7 の（２）の場所に必ず連絡すること。

（３）本件調達の公告日から開札日（再度入札を行う場合にあっては、再度入札の開札日）までの間のいずれの日においても、鳥取県指名競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成 7 年 7 月 17 日付第 157 号）第 3 条第 1 項の規定による指名停止措置を受けていない者であること。

- (4) 本件調達の公告日から開札日（再度入札を行う場合にあっては、再度入札の開札日）までの間のいずれの日においても、会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の規定による更生手続開始の申立てが行われた者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の規定による再生手続開始の申立てが行われた者でないこと。
- (5) 本件調達の公告に示した物品を自社で所有し（令和 5 年 1 月 27 日以降に取得する場合を含む。）、納入期限までに納入場所に納入することができる者であって、当該物品の納入後、保守、点検、修理その他のアフターサービスを鳥取県の求めに応じて速やかに提供できる者であること。
- (6) 鳥取県との協力・連携体制及び個人情報保護の体制を構築できる者であること。

4 契約をする者

鳥取県鳥取市湖山町北三丁目 250
鳥取県立鳥取湖陵高等学校
校長 若林 安德

5 契約担当部局

鳥取県立鳥取湖陵高等学校

6 配布資料

- ・仕様書
- ・入札参加資格確認書 (様式第 1 号)
- ・納入機器の仕様調書 (様式第 2 号)
- ・質問書 (様式第 3 号)
- ・入札書 (様式第 4 号)
- ・委任状 (様式第 5 号)
- ・契約保証金免除申請書 (様式第 6 号)

7 入札手続等

(1) 入札手続及び業務の仕様に関する担当部局

〒680-0941 鳥取市湖山町北三丁目250
鳥取県立鳥取湖陵高等学校
電話 0857-28-0250
電子メール koryou-h@mailk.torikyo.ed.jp

(2) 競争入札参加資格者名簿への登録に関する担当部局

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220
鳥取県総務部総合事務センター物品契約課
電話 0857-26-7431

(3) 入札説明書等の交付方法

入札説明書は、令和 5 年 1 月 27 日（金）から同年 2 月 13 日（月）までの日にインターネットの鳥取県立鳥取湖陵高等学校ホームページ(<https://www.torikyo.ed.jp/koryou-h/>)から入手すること。ただし、これにより難い者には、次により直接交付する。

ア 交付期間及び交付時間

令和 5 年 1 月 27 日（金）から同年 2 月 13 日（月）までの日（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日を除く。）の午前 9 時から午後 5 時までの間に交付する。ただし、令和 5 年 2 月 13 日（月）は午前 9 時から正午までとする。

イ 交付場所

(1) に同じ。

(4) 郵便等による入札

可とする。ただし、書留郵便（親展と明記すること。）又は民間事業者による信書の送達に関する

る法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第2項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるもの（親展と明記すること。）により、（1）の場所に送付すること。

（5）入札及び開札の日時及び場所

ア 日時

令和5年3月13日（月）午前11時即時開札。ただし、郵便等による入札書の受領期限は、同月10日（金）午後4時45分までとする。

イ 場所

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 応接室

8 契約手続において使用する言語、通貨及び時刻

日本語、日本国通貨及び日本標準時

9 専属的合意管轄裁判所

この調達に関する訴えについては、鳥取県鳥取市を管轄する裁判所を専属的合意管轄裁判所とする。

10 入札に関する問合せの取扱い

（1）疑義の受付

本件入札に関しての質問は、質問書（様式第3号）によることとし、電子メールにより7の（1）の場所に令和5年2月2日（木）正午までに提出することとし、原則として訪問、電話又はファクシミリによる質問は受け付けないものとする。

（2）疑義に対する回答

（1）の質問に対する回答については、令和5年2月6日（月）までにインターネットの鳥取県立鳥取湖陵高等学校ホームページ（<http://www.torikyo.ed.jp/koryou-h/>）によりまとめて閲覧に供する。

11 入札者に要求される事項

（1）（3）の事前提出物を7の（1）の場所に令和5年2月13日（月）正午までに、郵便等又は持参の方法により提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

（2）提出部数は各1部とし、その規格はA4版とする。

（3）事前提出物

ア 入札参加資格確認書（様式第1号）

イ 納入機器の仕様調書（様式第2号）

提出に際しては、それぞれの仕様が分かる資料（カタログ等）を添付し、蛍光ペン及び付箋等で該当箇所を明示すること。

なお、仕様書の参考品番の機器を納入する場合は、仕様が分かる資料の添付を省略することができるものとする。

ウ 保守体制について（任意様式）

（ア）迅速なアフターサービス、メンテナンスが可能であることを証明できる書類（メンテナンスサービス体制図）、導入機器のメーカーによる支援が確約されていることが分かるもの（代理店・特約店・メーカー支援の証、パートナー証明書、サポート証明書等）を提出すること。

（イ）入札参加業者と導入保守業者が異なる場合は、本件入札に関する機器の導入及び保守に関して、導入保守業者の支援が確約されていることが分かるものを提出すること。

（ウ）導入保守業者が複数である場合は、保守連絡体制を統一するとともに、連絡先を特定すること。

12 入札参加資格の審査について

（1）11により提出のあった書類を審査の上、入札参加資格の有無を確認し、その結果を令和5年3月

2日（木）までに通知する。

- (2) (1) の審査により入札参加資格がないと認められた者は、鳥取県立鳥取湖陵高等学校長に対し、入札参加資格がないとした理由について、令和5年3月3日（金）までに書面（様式は自由）により説明を求めることができる。
- (3) 鳥取県立鳥取湖陵高等学校長は、(2)により説明を求められたときは、説明を求めた者に対して、令和5年3月6日（月）までに書面により回答する。

13 入札について

(1) 入札方法等

ア 本件入札は、紙入札により行うので、(2)に示す方法に従って計算した本件入札に係る借入物品の賃借料（保守料等を含む。）の総額を入札書に記載すること。

なお、月額あるいは年額ではなく、1の(3)の契約期間中の全ての賃貸借に係る費用の総額であるので間違いのないよう注意すること。

イ 入札書に記載する金額は、消費税及び地方消費税の額を含めた契約申込金額とする。併せて、課税事業者にあつては、内訳として消費税及び地方消費税の額を記載すること。

(2) 賃借料の内訳

借入物品の契約期間中の賃借料総額	・本件調達機器の搬入、撤去、設置及び設定に要する一切の経費（賃貸借期間終了後における撤去、搬出、データ消去及び処分等に要する費用を含む。） ・機器の操作説明会やメーカー派遣の技術者による講習会に係る経費 ・保険料 ・保守（修理（発注者の故意又は重大な過失による故障に係るものを除く。）、点検）に係る経費
------------------	---

- (3) 入札者は、いったん提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることはできない。
- (4) 入札書は、件名及び入札者名を記入し「入札書」と明記した封筒に入れ密封して、提出すること。
- (5) 郵便等による入札の場合は、件名及び入札者名を記入し、「入札書第1回」、「入札書第2回」及び「入札書第3回」と明記した封筒に「第1回」、「第2回」及び「第3回」と明記した入札書をそれぞれ密閉し提出すること。
- なお、第2回以降の入札書の提出がない場合は、当該再度入札は辞退したものとみなす。
- また、回数が記載されていない封筒は、1案件に対し入札書を2通以上提出した入札として無効とする。
- (6) 入札書及び委任状の様式は、様式第4号及び様式第5号のとおりとすること。
- (7) 委任状及び入札書の宛名は「鳥取県立鳥取湖陵高等学校長 若林 安徳」とすること。
- (8) 再度入札は2回とする（初度入札を含めて3回とする。）。
- (9) 再度入札において、前回の最低入札金額以上の入札金額を提出した者は失格とし、不落札でさらに再度入札を行う場合、次回以降の入札には参加させないものとする。
- (10) 入札者は、入札書の記載内容を抹消し、訂正し、又は挿入するときは、当該箇所に押印しなければならない。ただし、入札金額は、訂正できない。
- (11) 入札者は、協定、政令、会計規則、調達手続特例規則、本件調達公告、仕様書及びこの入札説明書を熟知の上、入札すること。
- (12) 入札後、本件調達公告、仕様書、この入札説明書等の不知又は不明を理由として、異議を申し立てることはできない。

14 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

本件入札に参加する者は、入札保証金として入札見積金額の100分の5以上の金額を鳥取県の指定する期日までに納付しなければならない。この場合において、会計規則第124条において準用する

会計規則第 113 条第 1 項に定める担保の提供をもって入札保証金の納付に代えることができる。

なお、調達手続特例規則第 14 条の規定により、入札保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

(2) 契約保証金

落札者は、契約保証金として契約金額の 100 分の 10 以上の金額を納付しなければならない。この場合において、会計規則第 113 条第 1 項に定める担保の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。

なお、調達手続特例規則第 18 条の規定により、契約保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

15 入札の無効

- (1) 本件調達公告に示した入札参加資格のない者の入札
- (2) 入札者に求められる義務を履行しなかった者の入札
- (3) 他の入札者の代理人を兼ねた者又は 2 人以上の入札者の代理をした者の入札
- (4) 委任状のない代理人の入札。ただし、年間委任状を提出している場合は、この限りでない。
- (5) 入札に際し、不正の行為があった者の入札
- (6) 1 案件に対し、入札書を 2 通以上提出した入札
- (7) 協定、政令、会計規則、調達手続特例規則、本件調達公告及び仕様書又はこの入札説明書に違反した入札
- (8) 記名押印のない入札書による入札
- (9) 入札書を鉛筆で記載した入札
- (10) 入札書の金額、氏名、印影その他入札に関する要件を欠き、又は重要な文字を誤脱し、若しくは記載内容を確認しがたい入札書による入札
- (11) 入札書の金額に訂正を施した入札書による入札

16 落札者の決定方法

本件調達公告に示した業務を遂行できると判断した入札者であって、会計規則第 127 条の規定に基づいて作成された予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を、落札者とする。

17 契約書作成の要否

要

18 手続における交渉の有無

無

19 その他

- (1) 入札終了後、落札者が免税事業者であるときは、消費税及び地方消費税に係る免税事業者届出書を提出すること。
- (2) 開札前に天災その他やむを得ない理由が生じたとき、又は入札に関し不正の行為があり、若しくは競争の意思がないと認めるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。
- (3) 本件入札参加資格確認に係る事項及び提出された資料の内容について後日事実と反することが判明した場合は、契約を解除する場合がある。
- (4) 契約の相手方（以下「受注者」という。）が次に掲げる事項のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる旨契約書に記載するものとする。

なお、受注者が次に掲げる事項のいずれかに該当することを理由に発注者が契約を解除するときは、受注者は違約金として契約金額の 10 分の 1 に相当する金額を発注者に支払わなければならない。

また、受注者が次に掲げる事項のいずれかに該当するかどうかを鳥取県警察本部に照会する場合がある。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団の構成員（以下「暴力団員」という。）である

と認められるとき。

イ 次に掲げる行為の相手方が暴力団又は暴力団員であることを知りながら当該行為を行ったと認められるとき。

(ア) 暴力団員を役員等（受注者が法人の場合にあってはその役員及び経営に事実上参加している者を、受注者が任意の団体にあってはその代表者及び経営に事実上参加している者をいい、非常勤を含むものとする。以下同じ。）とすることその他暴力団又は暴力団員を経営に関与させること。

(イ) 暴力団員を雇用すること。

(ウ) 暴力団又は暴力団員を代理、あっせん、仲介、交渉等のために使用すること。

(エ) いかなる名義をもってするかを問わず、暴力団又は暴力団員に対して、金銭、物品その他財産上の利益を与えること。

(オ) 暴力団又は暴力団員を問題の解決等のために利用すること。

(カ) 役員等が暴力団又は暴力団員と密接な交際をすること。

(キ) 暴力団若しくは暴力団員であること又は（ア）から（カ）までに掲げる行為を行うものであると知りながら、その者に物品の製造、仕入れ、納入その他業務を下請等させること。

(5) 14 の（2）の契約保証金の免除を希望する落札者は、落札の通知を受けたら直ちに契約保証金免除申請書（様式第6号）を、7 の（1）の場所に提出すること。